

地域	兵庫県姫路市	認定日	平成20年3月31日	5 - 19 - 085
事業分類	製造(精密機械)	テーマ分類	検査・計測	

事業名: 有害付着生物の繁殖予測用の「付着生物幼生センサー」生産・販売及び対策コンサルティング

事業概要(新規性、市場性等)

- ・ムラサキイガイ、アカフジツボ等の海洋付着生物の幼生に反応するセンサーを開発し、販売する。
- ・付着生物の幼生段階での抗原に反応する抗体の開発に成功し、被害予防への解決策を見出した。
- ・イムノクロマト法によるセンサーを製品化するとともに、対策コンサルティング事業を展開する。
- ・付着生物の大量発生を事前に予測できるため、海水を利用した冷却系(復水機)などへの被害を、少量の駆除薬剤の投入で抑えることが可能となる。
- ・また、解析装置による定量データを提示できるため、客観的資料に基づく駆除活動が可能となり、また施設周辺の漁協等への明確な説明ができるようになる。

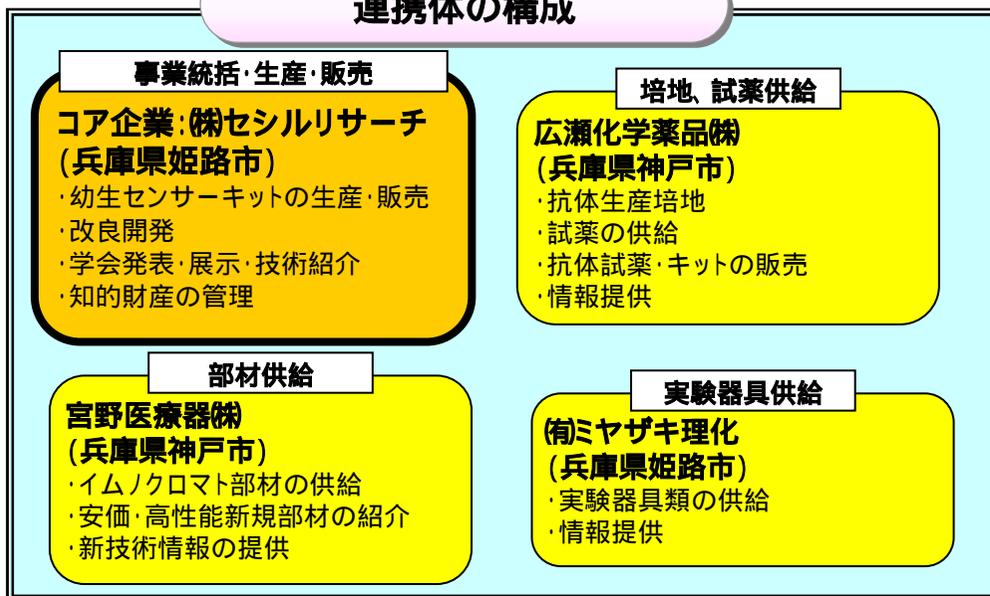
事業推進体制



支援予定メニュー

- 補助金
- 低利融資
- 設備投資減税
- 特許料減免

連携体の構成



事業支援
(財)ひょうご科学技術協会

事業支援
(財)ひょうご産業活性化センター

現行の方法:
専門家の顕微鏡観察による種類判別



- 問題点:
- ① 高倍率顕微鏡が必要
 - ② 専門家以外には困難
 - ③ 解析に長時間・高コスト必要
 - ④ 多検体処理が困難

本事業:
幼生センサーキットによる簡易・迅速判定



現行方法と本事業の比較

連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業である(株)セシルリサーチは連携外協力者の濱中製鎖工業(株)の子会社として、海洋に関する受託研究事業を主に行ってきた。その中で臨海発電所などが海洋付着生物による被害を受け、被害予防にも適切な方法がなく、また駆除剤による海洋汚染にも課題があることに着目し、その被害防止の開発研究を続けてきた。
- ・この受託研究開発業務において、今回の連携企業である、宮野医療器械(株)、(有)ミヤザキ理化、広瀬化学薬品(株)と、実験器材及び試薬の取引を行ってきた。
- ・技術的开发においてひょうご科学技術協会を介して兵庫県立大学の研究者の紹介を受け、技術支援を受けることが可能となったため、本事業である「付着生物幼生センサー」の製品化に漕ぎ着けることができた。
- ・コア企業が、研究成果を幼生センサーキットとして製品化するに当たり、安定的な生産体制を構築するため、今まで取引関係にあった上記三社と連携し、本事業として実現することとなった。
- ・さらに、外部協力者である中国電力(株)に導入に向けての評価試験の協力を得ている。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社セシルリサーチ 代表取締役 濱中英男	
所在地	兵庫県姫路市白浜町甲770番(濱中製鎖工業(株)白浜工場内)	
創業	平成18年3月	
資本金・従業員数	1,000万円	6名
業種	海洋バイオテクノロジーに関する調査試験及び受託研究開発	
T E L	079 - 245 - 3037	
F A X	079 - 245 - 3038	
ホームページ	http://www.sessile-research.com	
e - m a i l	k-yamashita@sessile-research.com	

PR等その他の情報

- ・臨海エネルギー及び海洋産業関連の市場をターゲットとしています。
- ・認定に至るまでには、長期的な展望下での事業計画作成等、未経験の点も数多く、苦労しましたが、長崎PMを始めとする多くの先生方の献身的なご指導・ご支援により、乗り切ることができました。
- ・中国電力等のご協力により、瀬戸内海の発電所にて、幼生センサーキットの販売・適用を開始しました。
- ・平成20年7月末に神戸で開催される国際生物汚損腐食学会にて研究開発成果を紹介する予定。